



本翻訳の原文は蘇州の有名な画家周文雍氏のブログ「苏州老行当」から抜粋したものです。今回、多摩中国語講習会の学習者のために翻訳掲載の許可をいただきました。

## 蘇州の古い職業

周文雍

### 序文

私の画集『蘇州の古い職業』は、2006年に中国外文出版局より正式に国内外に向けて発行されました。またこの本は2008年オリンピックで政府が推奨する書籍の1つにも挙げられました。

私は絵を描くだけの一般人で、目立つような華々しい経歴もなく、絵を描くのは趣味にしかすぎません。蘇州で生まれ育ち、蘇州で学び蘇州で働いています。私は蘇州を深く愛しています。私が生活していた山塘街は私の創造力の源であり、蘇州の風情を描く主要テーマともなっています。生計を立てるために私は一度蘇州を離れましたが、ほかの土地では創作への意欲もインスピレーションも湧いて

こずに、芸術的思考は空白のままでした。「私が生きる世界は自分の故郷ではないか。私の芸術家としての命は蘇州にあるのではないか。帰ろう。故郷では貧しいままかもしれないが幸せに暮らせるのではないか」。そう思いました。列車が江南に入ったとき、霧雨は甘露のように、微風は少女の口づけのように感じられました。ああ、私の故郷は何と美しいのだ！ 私は再び創造の意欲と芸術に必要なルーツを得ることができました。私のルーツは蘇州にあったのです。

私は西洋の絵画、中国画、建築を学んだので、いつも中国的なもの、西洋的なものが結合されたような表現手法となり、それが画面に、描かれている題材は古い手法は新しく、民族の特徴を鮮明に表現する力を与えているように思えます。「民族性があるのはじめて世界性がある」というのは多くの人が言うところで、私もそのとおりだと思っています。芸術が私の信仰であり私の人生の根幹なのです。

近代都市の急速な発展は、鉄筋コンクリートを摩天楼の高層ビルに変え、人々はまるでセメントの森の中を行ったり来たりしているようです。人々は冷淡になり隣に誰が住んでいるかを知らず、生活リズムは速くなりました。浮ついた落ち着かない時代が人々を互いに無関心にしてしまったのですが、このような生活様式の変化の中で、一部の人間は過去への思いを募らせ、失った生活様式を懐かしく思い出すようになっていきます。たとえその長い年月が苦難に満ちていたものであったにせよ、消し去ることのできない思い出がそこに残っているからです。

蘇州の古い職業と近代産業文明から生み出される職業とを比べると、その差は歴然としています。しかし、前者には古いものの美しさ、素朴な美しさが備わっています。時代の進歩と科学技術の発展により、これらの職業の大部分がすでに消えてしまいました。私は1960年代に生まれた人間ですが、幼いころには見ることができた多くのものが、今は博物館に行っても必ず見られるとは限らなくなりました。

それで私はそれらの古い職業を描こうと決めたのです。「蘇州の古い仕事」で表されているのは、蘇州市で見られた各種の仕事です。その中のいくつかの仕事はすでに消えていこうとしていますが、日常生活の中ではほとんどがまだ欠かせないものなのです。

周文雍：蘇州工芸美術学校、蘇州都市環境保護研究所で学び、蘇州建築設計研究院、中国美術家協会北京展示センターに勤務後、現在は蘇州山塘閣美術館館長。

## 序文

我的“苏州老行当”有中国外文出版社已于 2006 年出版并正式向海内外发行. 该书已被国家列入 2008 年奥运会其间管方推荐书目。

我是个平民画家，没有辉煌、显赫的艺术简历，绘画只是我的爱好。生在苏州、长在苏州、学习在苏州、工作在苏州的我深深地爱着苏州。我生活的山塘古街是我无穷的创作源泉，并以画姑苏风情为主要题材。为了生计我曾一度离开过苏州，在他乡我没了创作冲动，更没了灵感，艺术思维一片空白。看来我的天地在故乡，我的艺术生命在姑苏。回去吧，在故土守着我的贫穷也是幸福的。当列车驶入江南时，蒙蒙的细雨就像甜蜜的露，微风轻拂就像少女的吻。啊，家乡太美了！我又有了创作的冲动，艺术需要根，我的根在苏州。

我学过西画、中国画、还有建筑等，因此表现手法常常是中西结合，渗入了许多西洋画法，使画面更加丰富，题材虽旧，手法却新，并力求具有鲜明的民族特色。“愈是具有民族性的地方愈具有世界性”，许多人这样说，我也是这样想的。我的信仰是艺术，艺术就是我的人生支柱。

现代城市的快速发展，将钢筋混凝土迅速变成一幢幢摩天大楼，人们好似穿梭于一片水泥森林中。人与人变得冷漠，门对门都不认识，是生活节奏变快了，还是浮躁的时代使人们变的陌生了，生活方式的改变使一部分人留恋过去，怀念逝去的生活方式，那悠悠的岁月虽然充满苦难，却也留下了磨不去的记忆。

苏州的老行当与现代工业文明相比反差强烈，前者有一种古旧的美、纯朴的美。由于时代的进步，科技的发展，这些行当大多已销声匿迹了。我是上世纪六十年代出生的人，小时候还大多见得到这些东西，如今，就是到博物馆也不一定能见到了。因此我决定把这些老行当画下来。“苏州老行当”画稿表现的是 20 世纪各个时期苏州市面上所见的诸业行当。有些已经消失，其中大部分仍是家居生活中不可或缺的。

●代書屋 昔は字を知っている者がいない家は多かったので、遠くにいる親戚や子ども、友人たちと連絡を取るには手紙をやりとりするしか方法がありませんでした。何かを知らせたいときに手紙を書くことができないとだれかに書いてもらうしかなく、それで代書屋が職業として成立していたのです。代書屋は手紙を送るのに都合が良いように郵便局の前に店開きしていました。

代写书信 家里没有人识字的旧时有很多人家，以前亲戚、子女、朋友在外地要联络，也只有通过书信进行来往。还有的要告状，不会写状纸，也只能请人代笔，这样代写书信也成了一门行当，设摊者往往放在邮局门口，这样比较方便寄信人。



●老虎灶(ラオファーザオ) 老虎灶で沸かしたお湯を買うほうが自分の家で沸かすよりも安くて便利で合理的です。ふつうは老虎灶のとなりに茶館がつくられています。この大型のかまどがどうして老虎灶(虎のかまど)と名付けられたのか、その由来は確かではありません。その形が虎に似ていたからなののでしょうか、それともかまどがものすごい量の薪を食べるからなののでしょうか？

老虎灶 上老虎灶买开水比自己烧合算、便宜、又方便，一般老虎灶边上还设有茶馆。老虎灶的名字来源我有点迷惑，是其形状象老虎呢，还是它“吃柴禾”厉害之故？

●**日傘修繕** 日傘には竹紙（竹で作られた紙の上に桐油を塗ったもの）、竹製品（傘の柄とか骨）それから頂上部分を作る防水布やナイロンが用いられています。長いあいだ日に照らされ雨に降られているうちに修理が必要になってきます。蘇州の人は「日傘」と呼んでいますが、ほんとうは「雨傘」と呼ぶべきです。蘇州は雨がとても多いので、人々は、雨を避けるようにと、わざと「日傘」と呼んでいるのかもしれませんが。もちろん太陽光をさえぎることもできます。

**修阳伞** 阳伞是用竹纸（竹纸上涂桐油），竹制品（伞把、骨架等），后来还有用油布的、尼龙的做顶，日久光照雨落，需要修补，苏州人称“阳伞”，其实应该叫“雨伞”，苏州雨太多了，人们故而称“阳伞”来回避雨多之故吧。当然用伞挡太阳光也是可以的。



●**鍛冶屋** 鉄でできた道具はそれこそ数え切れないほどたくさんあります。日常生活や製造業の現場で鉄がないところはありません。鍛冶職人が作り出す生活用具や製造工具は、高温で熱して柔らかくなってから大きなハンマーで成形する必要があります。

**打鉄匠** 鉄制工具胜不胜数，太多了。在日常生活中，生产工作中，都离不开铁。通过铁匠的打制成了人们生活、生产中的工具，它需要高温烧红变软，再由铁匠的大锤小锤的打制成形。

●水車踏み 水田の灌漑や池の水の交換などに使われる水車は、すべて木でつくられています。人が軸につながる木板を踏み、水を出したり入れたりするのです。この仕事をする人は足がじょうぶで、500 キログラムの水量でさえ踏むことができるほどです。

踏水車 其用途有灌漑稻田、池塘换水等，其所谓水车都是木头做成的。人工踩踏轴片，便将水源不断地排出或排进，此行当腿功极好，日久能脚踏千斤。



●夜廻り 半夜三更①が「打更夫」の由来となっています。夜廻りが三更を告げる鼓②をたたくと、それは真夜中、現在の 12 時前後でした。暑さ寒さにかかわらず、夜廻りはわずかも怠ってはなりません。

①更とは一晩を五分割した時間の言い方で、三更は現在の夜 11 時ごろまたは午前零時ごろからの 2 時間を言う。半夜三更は真夜中。

②夜廻りには銅鑼や竹の拍子木が使われるが南部では銅鑼を叩く。

打更夫 “半夜三更” 的由来，就是打更夫的作为。打更夫敲到三更时就是半夜了，即现在的十二点左右。不论寒暑，更夫不能稍息。

●靴磨き 靴磨きは、普通はにぎやかな地区で裕福な人が出歩くところで店開きをします。靴磨きにも、靴クリームの量をいかに少なくしていかに光らせるか、というこだわりがありました。今のことばで言えば“原価計算”とでも言うのでしょうか。

擦皮鞋 擦皮鞋一般都设在热闹地区，并且多有富贵之人出没处，擦皮鞋也有讲究，既要省油，又要擦得亮，用现在的说法叫“成本核算”。



●桶職人 桶職人とは木の一片一片に鉄のたがをかけて桶を作る人のことです。足を洗う桶、便器用の桶、取手の付いた桶、風呂用の桶など、日常生活の用具である桶を作る職人です。一般の大工さんではうまくつくれません。

この仕事には非常に熟練した技術が必要とされ、いい加減ではいけません。というのは、これらの用具がすべて水を入れるのに使われるからです。長く使っていて水がしみだしてくるようになったら桶職人に修理してもらわなければなりません。木がぼろぼろになったら新しいものに取り換えてもらうこともありました。

箍桶匠 箍桶匠就是把一片一片的木料用铁箍箍成桶的人。脚桶，马桶，提桶，浴桶等木制日常生活用具都是有箍桶匠来做的。一般木匠是不行的。这个行当非常专业来不得半点马虎，因为这些用具都是用来盛水之用的。有的用久了就会渗漏，这时就得请箍桶匠修作一下了。有的木料烂了就得换上新的。

●白檀の扇子作り　蘇州の民間の手工芸品の技術は世界最高水準にあると言ってもいいでしょう。白檀の扇子の彫刻は精緻を極めています。白檀の扇子は白檀の木片を連ねて作られます。すなわち骨は面であり面は骨であるのです。ほとんどの扇子の面には木の元来の色が生かされ、浮き彫りや透かし彫りがなされています。またある扇子には絵や絵の上に詩が書かれたりして、扇子で少しあおぐと白檀の香りが漂ってきます。

制檀香扇　苏州的民间手工艺堪称世界工艺之首。那檀香扇的雕刻工艺亦是精制绝伦，檀香扇即是用檀香木制成片串联而成。骨即是面，面即是骨。大多扇面以木本色为主，并有浮雕，浅刻，镂空雕刻等工艺。有的画上画题上诗，折扇一摇，飘满舍。



●剪紙　ひとつのはさみと1枚の紙が多種多様な形を作り出していきます。称賛に値するものとしては窓飾りの切り絵、実用的なものとして例えば靴の見本、衣服の意匠デザインなどがあります。この種の技術を持つ人たちはとても少なくなりました。需要がなくなれば生き残ることはできません。

剪花样　一把剪刀一张纸，剪出五花八门的样子来，有可作欣赏的，剪出窗花的，有可作实用的，如鞋样、衣样等，这门手艺如今很少见了，没有需求，就不能生存。